

街にはクリスマスソングが流れ、そろそろ各ご家庭のサンタさんたちは、子どもたちへのプレゼントをわくわくしながら考え始めるころでしょうか。25日の朝、子どもの喜ぶ顔を見られる幸せを味わえるのも、親になったからですね。24日の夜は、子どもに気付かれないようにサンタの仕事をしなければなりません。プレゼントの包み紙は、カサカサ音がしない素材を選んでくださいね。ワクワクして眠りの浅い子どもたちは、微かな音でも目を覚ましますから！ これ、経験者からのアドバイスです！
 メリークリスマス！ ステキなクリスマスを！



あかしや祭に来てくれてありがとう！

11月3日は、短大のあかしや祭でした。学生から広場の皆さんに「今年は“絵本の世界”で遊べる企画をしています」と、手作りポスターを持って案内がありました。絵本は、「ぐりとぐら」「ぐるんぱのようちえん」「はらぺこあおむし」「おいしいのぼうけん」でした。物語に沿って体験できる部屋があったり、暗闇の中を懐中電灯を持って進む部屋があったり、学生たちは「子どもたちに経験してほしいこと」を考えて企画準備してきたことがよく分かりました。

ご来場くださった皆様、ありがとうございました。学生たちの大きな励みになりました。



庭での遊びが展開されています



広場の朝は、9時から準備開始です。学生は、授業がない日はいつでも参加することができます。今日も、1・2年生が準備を始めましたよ。「ドーナツの型抜きをたくさん作っていたら、子どもたち壊すの楽しむかもね」と、1年生が話しています。この年齢の子どもは、“壊す”ことを楽しみ、次第に“作る”ことを始めるようになる・・・と、これまで広場で子どもたちと遊びながら学んだようです。

庭には、水道がありません。そこで、学生たちは考えてくれました。「水のタンクを置こう」と。ダイヤルを回すと水が出ます。そして、水が限りなく出てくる水道と違って透明なタンクなので、水が減っていくのが見て分かります。「今日は、このお水が無くなったらおしまいにしようね」と話すと納得してくれます。

丁度、寒くなってきたこともあり、大量の水で遊んで風邪を引かないようにという大人の思いもあって、このタンクは、子どもにとって、目で見えて、気付けて、考えられる、とても良い働きをしてくれました。



広場の日は、草花たちはたっぷり水をもらえます。Ｙくん（３歳）Ｒくん（１歳１１か月）いつもありがとう。

草花のように、目に見えるものは意識できますが、種を蒔いたばかりの畑は見た目にはよく分かりません。子どもたちはいつものように畑の上を歩きます。

こちらでは、来年の春のためにチューリップの球根を植えました。穴をあけて球根を入れて土を被せると、子どもは慌てて掘り返し、球根を見つけてニコッとしました。

これが、２歳児ですね。

学生たちは、子どもたちの姿から多くのことを学ばせていただいています。



こちらでは、来年の春の



畑では、秋に蒔いた種（えんどう豆・かぶ）が芽を出しました。先日、学生たちは「間引き」をしてくれました。白菜の苗には、丸々と太った青虫が３匹！一番おいしいところを食べていました。（先を越された・・・！）青虫の勝ちです。Ｈくん（２歳８か月）は、ニョキニョキ動いている青虫をじっと見ていました。

白菜も生きている、青虫も生きている、命を感じられるドラマが、この秋の庭で展開されています。



どんぐりからも、何かがニョキッと出てきましたよ。「芽？」「根？」観察が始まりました。



今年の秋は、コスモスたちが大人に癒しをもたらし、子どもたちの手にも握られました。

新米おにぎりと秋の味噌汁、おいしい顔！

今回のクッキングは、本学食物栄養専攻のスタッフ佐藤香菜子さんが協力してくれました。まず、昆布と鰹節で出汁をとります。学生たちも「覚えたい」と集ってきました。「鰹節はね、お魚だよ」と話しながら、子どもたちの小さな手に渡してあげると、パクパク・・・「もっとちょうだい」と手を出して、止まりません。「身体に良いおやつだね～」とお母さんたちと話していました。



出汁ができれば、早速味見です。昆布とカツオの旨味に感動！

今回の秋の味噌汁の具は、かぼちゃ、玉ねぎ、小松菜です。



そして、今年も福島県国見町のご協力で、新米“天のつぶ”の炊き立てご飯をいただきました。キラキラのご飯をふんわり握って、口の中へ！ 香菜子さんが出汁をとった後の鰹節で、さっとおかかを作ってくれて、それを具にした子もいました。





小さな手で、一生懸命ご飯をまとめているYちゃん(2歳11か月)。テーブルの上にも大きなおにぎりが並んでいます。お母さんの分も作ってあげているのかな。



お箸を上手に使えるTくんは、4歳です。みんなで一緒に食べると、お兄さんのようにお箸を使ってみたいな〜と憧れて、箸に挑戦する子も出てくるかもしれません。

みんなで一緒に旬のものをおいしくいただき「おいしいね〜」と顔を見合わせるこの時間、「食」が子どもたちの身体も心も育んでくれています。



第5回 ととけっこうのおはなし会



第5回ととけっこうのおはなし会はいかがでしたか？ 今回のおはなし会には、本学キャリア教養学科2年の司書課程の学生さんが13名参加してくれました。子どもたちに手に取ってほしい絵本を選書してくれて、おはなし会を共に作り上げてくれました。

いつものように、ニワトリさんがととけこの歌でおはなし会の始まりを合図してくれます。

紙芝居「ひよこちゃん」大型絵本「たまごのあかちゃん」のお話を楽しみました。

ふれあい遊びは「とうきょうと」です。親子で一緒に手をとって、学生と一緒に手を取って、歌のリズムと手と手が触れ合う感触を楽しみました。





最後は、好きな絵本を選んで読んでもらい、たっぷりおはなしの世界に触れたひとときとなりました。

冬の庭では・・・



あっという間に冬の空気になりましたね。11月29日、メダカちゃんの池にも氷が張っていることを発見！ 慌ててメダカの情報確認と引越しです。「氷～？冷たいね～」とYくん（3歳）。



築山に掛かった4mの板は、子どもたちが昇り降りに挑戦するにはもってこいの環境になりました。慎重に登る子、両足跳びで登る子、それぞれ楽しみ方も挑戦レベルも違います。

上から降りてくる子と下から登る子がいて互いに「どうしよう」と考える場面では、相手の存在や気持ちを意識する機会にもなりました。同年代の子どもと過ごす広場や保育園・幼稚園では、このような経験から考える機会が得られます。

なぜ、幼稚園に入園し、集団保育を経験するのか。それは、家庭では体験できないこのような体験ができるからですね。トラブルを未然に防ぐのではなく、年齢にあったトラブルを経験させ、自ら考え、経験から学ぶということを大切にしたいですね。



来春、幼稚園に入園予定の2～3歳のお友達。これまでの親子の愛着関係を土台に「心の基地」がしっかりと作られ、このように友達と対話をしながら、自然に友達と遊ぶようになります。

毎年この時期に見られる姿です。



12月13日(金)は、来年の味噌を仕込みます。おいしい大豆から味噌になるまでの工程と一緒に体験しませんか。出来上がった味噌は、来年みんなでいただきましょう。



日時：2020年

1/14(火)

10:40~11:00

場所：桜の聖母短期大学
図書館情報センター

今年も大変お世話になりました。

また来年、元気にお会いしましょうね。皆様、良いお年を！

文責 奥田美由紀

今後の予定

12月10日(火)
13日(金)
17日(火)
20日(金)

年末年始は、冬休みです

1月7日(火)
10日(金)
14日(火)
17日(金)
21日(火)
24日(金)
28日(火)
31日(金)
2月4日(火)

2・3月は、春休みです

4月の予定は、3月下旬に短大HPでご確認ください

